

行政視察等報告書

平成28年1月12日

米子市議会議長様

会派名 希望
代表者氏名 国頭 靖
提出者氏名 国頭 靖



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	矢倉 強 国頭 靖
期日	平成27年11月18日から平成27年11月19日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容)	
11月18日 福岡県大牟田市 大牟田市食育推進計画(健やか住みよか食育プラン2) について 11月19日 熊本県熊本市 動物愛護センター内への「愛護棟」増設について	
〔所感〕	
別紙のとおり	
経費	旅費総額 102,490円

所感 報告者 国頭 靖

「福岡県大牟田市の食育に関する取り組みについて」

平成27年11月18日 14:00～16:00 於：大牟田市役所

説明者：大牟田市福祉保健部健康対策課健康推進担当 柿原豊治主査 他栄養士1名

福岡県の南端に位置する大牟田市は現在人口11、7万人であるが、かつては三井三池炭鉱の石炭資源で栄え、昭和34年には最大人口20万人を誇り、保健所を持つ保健所政令市でもある。高齢化も進み平成22年から、特に「子ども世代」と「高齢者世代」について、緊急性の高い事業として健康づくり推進計画「ウエルネスおおむた21」を策定し、食育についても同計画に明記された。大牟田市食育推進計画「健やか住みよか食育プラン」を5年間取り組まれ、終了と同時に「食育に関する実践力の向上」を全体目標とした「健やか住みよか食育プラン2～大牟田市食育推進計画～」を平成27年2月に策定し、これもまた5年間の計画であり、今回の計画も

【大牟田市食育推進会議】

大牟田市食育推進会議条例に基づき、食育に関係する学識経験者や様々な関係機関や関係団体の代表者、公募による市民委員で構成される、食育推進計画を作成しその実施を推進する会議

【大牟田市食育推進委員会】

庁内関係部局の課長等で組織し、食育に関する情報や課題の共有化を図り、食育の推進に係る施策の総合的かつ効果的な推進を図る委員会

【大牟田市食育推進委員会作業部会】

計画を策定するために、庁内関係課の主査、その他の職員で構成された作業組織大きくこの3つで動かされており、庁内だけでなく市民を巻き込んだ取り組みは大いに驚かされた。

市民の健康＝幸せを第一に考えており、当市が食育をどの程度真剣に考えているのか、重点施策に当然すべきと改めて考えさせられた。当市は組織的にはこのような食育に対する組織はもちろんなく、取り組みの姿勢が今後問われていくことになるだろう。

熊本市における動物愛護の取り組みについて」

平成27年11月19日 10:00～12:00 於：熊本市動物愛護センター

説明者：愛護班 後藤隆一郎獣医師 鳥獣班 永田和恵主査

熊本市繁華街から少し離れた地にこのセンターはあり、人口73万人の保健所を擁する政令指定都市の中であり、また全国的にも10年前から犬猫の殺処分をゼロにすることを宣言し、取り組んでいることで有名だ。まず、10年間の目標達成の為の取り組みについて伺い、その後、新しく作られた動物愛護棟等を見せて頂いた。

殺処分を減らすためには、市民への啓発とともに最初は断固とした姿勢で対応された事、つまりは今でも基本的に預からない、飼い主が次の飼い主を探すこと等、目標の為に市民と共に取り組む姿勢に感動を覚えた。犬の鑑札や名札を付ける事への啓発、ボランティアの方々、団体との共同の取り組み、毎年、殺処分の数を減らしていき、昨年度、犬の殺処分はゼロになったこと、職員さん達の今までの努力を考えると、こんな行政（保健所）が日本であるんだと取り組みの真剣さでも感じた。

現在、当市でも地域で野良猫への餌やりによる繁殖や飼い犬猫による近所のトラブルは毎年増加傾向であり、今改めて捕まえ、殺処分すればいいという考え方を改め、増やさない為に市民への啓発、指導、行政が何をすべきなのか（野良猫の避妊去勢等）を真剣に考えるときに来ていると考えさせられた。